

## 領収書

鈴木靖宏 様

¥21,600\*

但し 議会報告書2000枚作成費として  
平成30年05月31日 上記正に領収いたしました

TM Design  
町井 正  
〒327-0835  
栃木県佐野市植下町592-4  
TEL 050-5879-2978

## 領収書

鈴木靖宏 様

¥32,400\*

但し 議会報告書 両面2000枚作成費として  
平成31年01月31日 上記正に領収いたしました

TM Design  
町井 正  
〒327-0835  
栃木県佐野市植下町592-4  
TEL 050-5879-2978

領 収 書

平成30年 9月 7日

鈴木 靖宏 議員

金 額  
(消費税込)

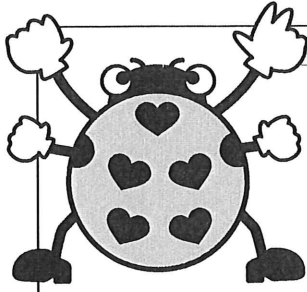
1,592円

第3回佐野市議会議会報告会費用分担金として、上記の金額を領収しました。  
(平成30年7月5日、9日、11日報告会開催)

佐野市議会報告会運営会委員長

菅原 達





# てんとう虫通信

## 蒼生会を代表して予算大綱質疑



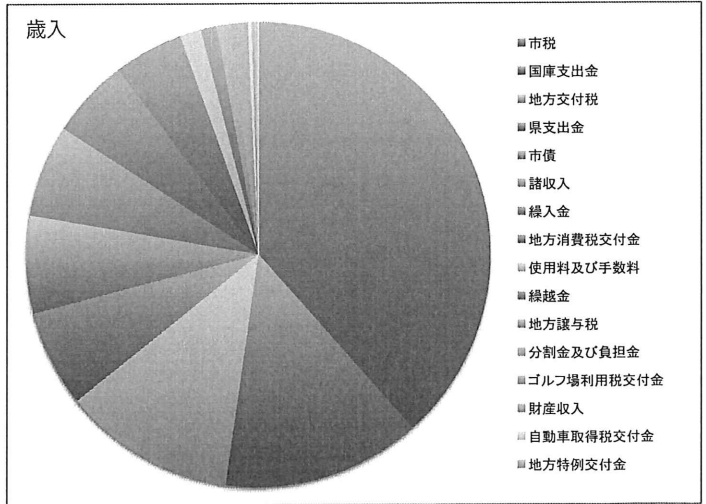
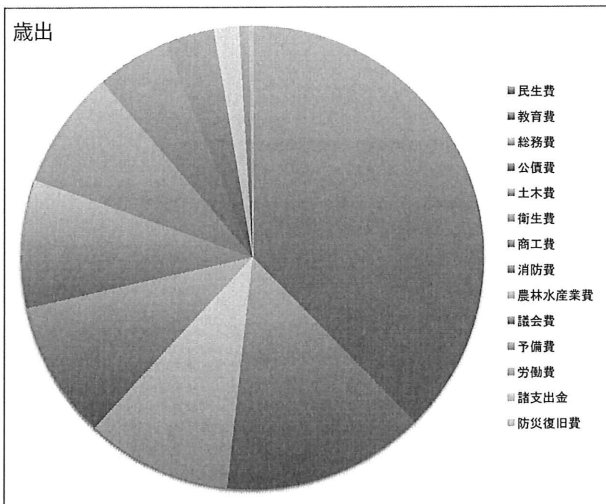
鈴木靖宏 議員

平成30年度 佐野市予算大綱質疑に初登壇。14年目を迎える佐野市政に対し、提案型を前面に押し出し、初めに「企業寿命30年説の法則」を例に挙げ、「企業には必ず寿命がある。少数の事業にこだわり続けると、そう遠くない将来に衰退し、没落して行く。限りある寿命を延ばす唯一最大の方法は「変身」であり、その基本条件は動く人間が力強くクラブでなく、その組織がどう変わるかである。」と力説。

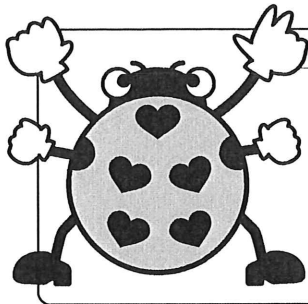
予算大綱質疑の第一に、第2次総合計画の推進テーマである「定住促進」について、佐野市としては、特色ある定住促進条例制定も検討する必要があることを提案した。第二に、渡良瀬川への架橋も含めた国道50号沿線開発（平成29年第3回 佐野市議会定例会にて一般質問で取組）構想を策定首都圏バックアップ機能としての広域幹線道路ネットワークの構築にも取り組む他、大規模災害時の避難路線としての利用も考えるべきではないかと提案。第三に、基本目標の「魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり」「産業振興で活力あるまちづくり」の政策企業立地支援事業について、企業立地の促進及び雇用機会の拡大を図ることや市内に整備された各産業団地への進出企業の支援は無論必要であります。今まで雇用の創出や納税義務など果たしてきていた現状の中、小企業の物心両面での支援の必要性を提案。第四に、重点施策の「出流原PA周辺開発の推進」項目の出流原PA周辺総合物流開発整備推進事業について、コンテナ主体の輸出入運営をしている状況にあるが、国内での物流はその地域に配送される物品は一箇所に集められ、そこからそれぞれの地域や目的の地及び店舗や倉庫に配送するセンター方式で運営されているのが現状であり、この状況を鑑みると、物流センターの併設も考えるべきと提案。第五に、「安心して子育てのできるまちづくり」の政策項目の、民間保育所施設整備支援事業について、こども街宣言都市「佐野市」は、在宅で子育てをする保護者に応援をする奨励金制度の創設なども考えていく時期と提案。その他提案もし、結びに「地方ではまだまだ実質感を感じることができない状況での予算執行であり、効率の良い運営・経済環境などに順応できる運営そして何よりも市民に信頼される行政運営を望む」と取りまとめの意見を述べ、締め括った。

## 平成30年度予算審査特別委員会審議中 一般会計予算案459億7千万円

新規事業として、市民病院移行期運営支援事業費5億円▽運動公園陸上競技場改修・第2種公認更新事業費2億6059万円▽葛生文化センター改修事業費7506万円――などを計上した。また、市を挙げてクリケットを核としたまちづくりを推進しており、クリケットタウン佐野創造プロジェクト事業費7427万円も盛り込んだ。



\*予算額の多いものより



発行人: 鈴木靖宏 佐野市越名町313 TEL 87-4115 FAX 24-9951

平成30年12月発行  
市議会報告  
速報号

Y A S U H I R O S U Z U K I

# てんとう虫通信

## まちなか活性化に貢献



### 市駐車場の有料化検討

佐野市議会

一般質問

#### ■市役所駐車場

中心市街地の活性化を図る市は、平日夜や休日に市民広場駐車場を一般開放している。市役所周辺の店舗などへの誘客に効果が見込める一方で、休日には長時間駐車も目立つ。

加藤栄作総合政策部長は「ゲート式駐車場機器を導

入し有料化することは、長時間駐車抑制に効果が期待できる。課題を踏まえ前向きに検討したい」と答弁した。鈴木氏が質問した。

下野新聞  
平成30年12月14日  
の記事より

### 駅南公園西

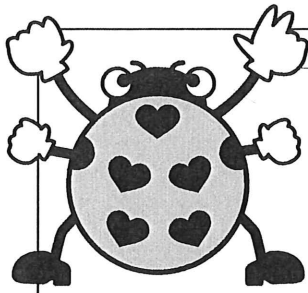
### 土地区画整理事業化

市道57号線(庁舎北側の通り)が唐沢観光通りまでの約170メートルが拡幅整備されることになり、庁舎への一方通行が解除され対面通行となります。

これに伴い、駅南公園西側約0.7ヘクタールの土地区画整理が行われます。

駅南公園西土地区画整理(予定)





発行人：鈴木靖宏 佐野市越名町313 TEL 87-4115 FAX 24-9951

平成31年01月発行  
市議会報告  
新春号

Y A S U H I R O SUZUKI

# てんとう虫通信



## 新元号に 向けての 取り組み

① 渡良瀬川の新橋建設と南部道路の新設

(緊急時避難道路や地域交流道路としての活用)

② 国道50号線沿線開発促進と市内主要幹線道路の連結強化

(渋滞緩和や交流人口増加)

③ 閉校学校跡地に特別支援学校を誘致

(佐野市内の特別支援学校通学児童生徒の通学ストレスの軽減と保護者の負担軽減)

④ 中山間地域の緊急医療対策強化

(学校跡地利用で、Drヘリのランデブーポイント整備)

⑤ 学童クラブを全校区6年生までの受入を確立

(未実施校の整備促進)

⑥ 異常気象にも対応できる一級河川・準用河川の整備強化の促進

⑦ 安定収入が確保できる農業への取組

(佐野産の米や野菜類のブランド化)



## 議会からこんにちは 新春号より



鈴木 靖宏

① 蒼生会  
② 越名町313  
③ (87) 4115  
④ 新しい年と地域環境に合った施策目標として、国道50号線沿線開発の促進と市内主要幹線道路との連結強化を図り、渡良瀬川架橋を具現化することにより、交流人口の増加や災害時の緊急輸送路・避難道路としての活用ができます。また、近年の集中豪雨等の異常気象にも対応できる一級河川及び準用河川の整備強化が求められています。更に、特別支援学校に通う子ども達のために旧船津川小学校等、閉校後の跡地有効利用を提案致します。